

定例会議の開催状況

- 1 日時 令和7年10月8日（水）午後1時15分～午後2時50分
- 2 出席者 櫻井委員長、和田委員、逸見委員、山田委員、斎藤委員
本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、情報通信部長、警察学校長、首席監察官、組織犯罪対策本
部長
説明補助者
総務課長、公安委員会事務室長、許認可管理センター長、交通聴聞官、
運転免許センターセンター長補佐、警衛警護室長
- 3 議題事項
 - (1) 警察署協議会委員の委嘱について
総務課長から、「警察署協議会委員からの辞職の申出等に伴い、補欠の委員の
委嘱について承認していただきたい。」旨の説明があり、審議の結果、原案ど
おり決定した。
 - (2) 営業実態のないまあじゃん屋に対する許可の取消しの行政処分の量定案につ
いて
許認可管理センター長から、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する
法律違反により聴聞を実施したまあじゃん屋について、行政処分を決定してい
ていただきたい。」旨の説明があり、審議の結果、行政処分を決定した。
 - (3) 銃砲所持許可の取消しに係る聴聞結果及び量定案について
許認可管理センター長から、「銃砲刀剣類所持等取締法に関する法令違反によ
り聴聞を実施した銃砲所持許可に関する処分対象者について、行政処分を決定
していただきたい。」旨の説明があり、審議の結果、行政処分を決定した。
 - (4) 運転免許関係の意見聴取等について
交通聴聞官から、運転免許取消対象事案27件について、事案内容及び意見聴
取等結果の説明があり、審議の結果、取消し27件の行政処分を決定した。
 - (5) 警察職員の援助要求に対する同意について
警衛警護室長から、「大阪府公安委員会から、「2025年日本国際博覧会」にお
ける閉会式に伴う警護に万全を期すため、警察職員の援助要求があった。」旨
の説明があり、審議の結果、同意をすることとした。
- 4 報告事項
 - (1) 公安委員会宛て苦情申出の受理について
公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに届いた警察職員の職務執行に関
する苦情申出について報告があった。

(2) 公安委員会宛て審査請求及び執行停止申立ての受理について
公安委員会事務室長から、公安委員会宛てに提出された運転免許取消処分に対する審査請求及び執行停止申立てについて報告があった。

(3) 新潟県警備業協会からの防犯機能付き電話機等寄贈式の実施について
生活安全部長から、新潟県警備業協会からの防犯機能付き電話機等の寄贈式の実施について、資料に基づき報告があった。

委員から、「物品の寄贈について、団体、個人を問わず寄贈の希望があれば受けているのか。」旨の質問があり、生活安全部長から、「基本的には寄贈の希望がある警備業協会などの各種団体から、詐欺防止等警察活動に資する物品について、適正な手続きを経て受け入れている。」旨の説明があった。

(4) 敬和学園大学における寄附講座の実施について
生活安全部長から、敬和学園大学における寄附講座の実施について、資料に基づき報告があった。

(5) 警察官等を装った手交型オレオレ詐欺事件被疑者の検挙について
組織犯罪対策本部長から、警察官等を装った手交型オレオレ詐欺事件被疑者の検挙について、資料に基づき報告があった。

委員から、「警察官を装っている犯罪であるが、対面の場合で本物の警察官と県民が明確に判断できる方法はあるのか。」旨の質問があり、組織犯罪対策本部長から、「対面の対応であれば、警察署名を確認し、警察署に問い合わせてもらふなどの方法がある。」旨の説明があった。

委員から、「今回の検挙から詐欺組織の実態解明や上位者の特定につながることを期待している。」旨の発言があった。

(6) ベトナム人によるMDMA等密輸事件等の検挙について
組織犯罪対策本部長から、ベトナム人によるMDMA等密輸事件等の検挙について、資料に基づき報告があった。

委員から、「検挙されたベトナム人は、MDMA等を日本国内に輸入することは犯罪であることを理解しているのか。」旨の質問があり、組織犯罪対策本部長から、「犯罪であることを理解しており、来日外国人の薬物事犯についてはベトナム人が多数を占めている。」旨の説明があった。

委員から、「同じ国籍を持つ者同士の同胞意識による犯罪は、犯罪であることを理解している反面、母国とは異なる日本の法律に対する意識が希薄になりがちなのが考えられることから、外国人に対する日本の法律の周知などの対策が必要である。」旨の発言があった。

委員から、「薬物の密輸を防止するには、関係機関と連携した水際対策が重要である。」旨の発言があった。

(7) 令和7年9月末現在の交通事故発生概況等について

交通部長から、令和7年9月末現在の交通事故発生概況等について、資料に基づき報告があった。

委員から、「高齢者による死亡事故が発生しているが、高齢者の場合、運転操作への危機意識がないことも考えられることから、家族による運転状況の把握や運転免許証の自主返納を検討するなどの対応が必要だと思う。」旨の発言があった。

委員から、「車を運転中にラジオから車のライト点灯に関する放送が流れることで、運転手にライト点灯を促し、交通安全への注意喚起につながることから、交通安全対策としてラジオからの呼びかけは非常に有効な広報手段であると感じている。」旨の発言があった。